

2. 6年生 家庭学習の手引き

- 家に帰ったら、遊ぶ前に宿題をしましょう。
- 時間と勉強することを決めて、勉強を始めましょう。
- 毎日70分以上勉強しましょう。
(宿題+自主学習 [学年×10分+10分])
- 休みの日も、70分以上勉強をしましょう。
- 正しい姿勢と、えん筆を正しく持って始めましょう。

[1] 家庭学習を始める前に

- 何を学習するか決めましょう。
- その日の家庭学習の目標を決めましょう(お家の人と相談しましょう。)
- テレビやゲーム等のスイッチを切って、勉強のかんきょうを整えましょう。
- ランドセルの中のチェックをしましょう。
(学校からの手紙や連らく帳をお家の人にわたしましょう。)
- 机の上をかたづけて、きれいにしましょう。
- えん筆・消しゴム・下じき・勉強の道具の準備をしましょう。

さあ、勉強を始め!!

今日の計画は
割合の問題を
50問

[2] まず、宿題をしましょう。

- 始める時刻を見ましょう。
- 宿題は最後までしあげましょう。
- 困ったときは、家族に相談してみましょう。
※相談しても分からないときは、次の日に担任の先生にたずねましょう。
- 姿勢やえんぴつの持ち方を正しましょう。



[3] 次は、自主学習にチャレンジしましょう。

- 〈国語〉
 - 国語の教科書やいろいろな本を声に出してスラスラ音読をしましょう。
→大きな声で読む。「、」「。」や意味のまとまりに気をつけてスラスラ読む。
 - 6年間で習う漢字1006字の読み書きができるように練習しよう。
→漢字を一行ずつ1ページ書きましょう。
→漢字を正しく読みましょう。
→送り仮名や「とめ」「はね」「はらい」に注意して、形を整え、正しく書きましょう。
 - 国語辞典や漢字辞典を使うことになれ、すばやく調べるようにしましょう。
→初めての言葉や意味の分からない言葉を調べてノートに書きましょう。
 - 国語の教科書を段落毎に要点をまとめ、要約してみよう。
→キーワードに注意して、文章や段落を短くまとめてみよう。
 - 国語の教科書や本、新聞から気に入った文章の視写をしましょう。
→1分間に40~50字を目標に書き写しましょう。
- 〈算数〉
 - 計算練習に毎日ねばり強く取り組みましょう。
 - 小数や分数の混じった計算を確実にできるように練習しましょう。
→計算の仕方をノートに書き残し、見直しができるようにしましょう。
 - 割合や百分率の見方や考え方を分かるように、くり返し練習しましょう。
 - 文章問題から、分かっている数や求める値を読み取り、線や図を使って式や計算を説明できるようになりましょう。
 - 教科書やスキル、計算ドリルで問題を解く練習をしましょう。
→答えを出すまでの計算も必ず書きましょう。
→問題をといたら、間ちがえていないか見直しをしましょう。
→間ちがえた問題は、なぜ間ちがったかをふり返り、くり返し練習しよう。
 - コンパスや分度器で立体の見取り図や展開図、体積などの図形を書けるようになりましょう。
- 〈社会〉
 - 歴史上の事件や人物について説明できるようにしましょう。
 - それぞれの時代の文化や出来事のつながりを整理したり、説明できるようになろう。
 - 重要な人物や年号を覚えよう。

- 憲法や三権分立について説明できるようになりましょう。
- 授業で習ったことを、図書館の資料で調べて見ましょう。Webを使って、親子で検索するのもいいですね。
- 習ったことをふり返って、生活に活かしましょう。
- 〈理科〉○実験道具の正しい使い方を理解しましょう。
- 実験の方法や手順、その結果を自分でふり返りまとめましょう。
- 理科で習ったことがを、事典や図かんなどで調べたり、身の回りの生活にかかされているものを探しましょう。
- 自由研究の課題を見つけて、自分にできる実験をしてみましょう。
- 〈英語〉○英語の発音ができたら、アルファベットの大文字・小文字の大きさや形、高さに気をつけて書いてみましょう。
- 習った英語を使って、会話をしてみましょう。



こんなことにもチャレンジしてみましょう。

- 今日の勉強や次の時間に勉強するところを読みましょう。(復習と予習)
- 授業のふり返りやまとめをノートに書いてみましょう。
- テスト前の準備をしましょう。
- テストのふり返り、正しくできるまで練習する。
- 授業で考えた問題文を書き写し、もう一度自分で解いてみよう。
- 問題を作る。
- ほかの問題やドリルをとく。
- 新聞や本を読んで、感想や意見を書く。
- 本を比較読みをしたり、同じ作者の本を続けて読んだりして読書量を増やす。
- 日記を書く(月日を書いて、心に残ったできごとをくわしく書きましょう)。
- 熟語や慣用句、ことわざを集める。
- 歴史に残る古文を暗唱したり、ノートに書き写す。
- 事典(辞典)や図かんを調べる。
- 生き物や花、野菜を観察する。
- 自分の気持ちや考えを整理しながら、心に残った出来事を日記として残しましょう。
- 音楽で習ったリコーダーの練習をする。
- なわとびの練習をする。
- 英語の発音ができたら、大きさや形、高さに気をつけて書いてみましょう。
- 家庭科で習ったことを使って、家の仕事を手伝う。

[4] 家庭学習のあとに

- お家の人に勉強したことを見せましょう。
- 時間割を確かめて、明日の準備をしましょう。
- えんぴつを削り、筆箱の中を整えましょう。
- 机の上をきれいにしましょう。
- 不要な物が入っていないか確かめましょう。



保護者へのお願い

この時期の子どもは、心にも体にも日々成長がみられます。また、大人にも一人前に接してほしいと感じるようになり、自分で考え、行動しようとする傾向が出てきます。

その一方で、相手やまわりのことを考えず、自分勝手な振る舞いをしてしまうことや、まわりの人にどのように思われているのかが気になり、友だちに同調した行動をしがちです。

子どもの言動を見守り、自主的で良い行動は認める、ほめ、励ますようにするとともに、子どもには、自分の行動の影響などを考えられるようにアドバイスをすることが大切です。

- 子どもがやりたいことと、やらなければならないことについて家庭で話し合い、自主性を尊重して学習や家庭での暮らし方の計画を立てさせましょう。
- 時間の使い方を考えさせ、生活にメリハリをつけさせてください。時間を守ることが、自制心や自律心を高め、学習の集中力を上げます。
- 静かな環境の中で、取り組ませてください。(声かけはどンドンしてください。)
- 将来について、夢や希望を語り合い、目標をもって学習できるようにしましょう。